

月井雄二教授 略歴・業績一覧

(出版者 / Publisher)

法学志林協会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法学志林 / Review of law and political sciences

(巻 / Volume)

116

(号 / Number)

4

(開始ページ / Start Page)

7

(終了ページ / End Page)

16

(発行年 / Year)

2019-03-24

月井雄二教授 略歴・業績一覽

略 歴

〈生年月日〉

一九五二年 二月二七日

〈学 歴〉

一九七五年三月 東北大学理学部卒業

一九七七年三月 東北大学大学院理学研究科生物学専攻修士課程修了(理学修士)

一九七七年三月 東北大学大学院理学研究科生物学専攻博士課程修了(理学博士)

〈学 位〉

一九七五年三月 理学博士(東北大学)

〈職 歴〉

一九八三年四月 法政大学第一教養部兼任講師

- 一九八五年四月 法政大学第一教養部助教授
一九八五年一〇月 法政大学第一教養部教授会副主任（一九八六年八月まで）
一九九三年四月 法政大学第一教養部教授
一九九六年四月 法政大学第一教養部教授会主任（一九九七年三月まで）
二〇〇三年四月 法政大学法学部法律学科教授
二〇一八年二月 ご逝去

〈所属学会〉

日本原生動物学会

- 会員 評議委員 二〇〇〇年一月～二〇〇六年一月
二〇〇九年一月～二〇一二年一月

〈受賞歴〉

日本原生生物学会 二〇一四年度学会賞

業績一覽

〈著書〉

1. 洲崎敏伸（編）、阿部大基、安藤元紀、市川正敏、遠藤浩、島野智之、末友靖隆、洲崎敏伸、園部誠司、月井雄

- 二、沼田治、芳賀信幸、早川正志、春本晃江、広野雅文、増田光平（二〇一四）原生生物フロンティア その生物学と工学 八三―九三 化学同人
2. 月井雄二（二〇一四）世界にはこる日本の先端科学技術 1 こまできている！iPS・遺伝子・脳研究、岩崎書店。
3. 白山義久、甲斐嘉晃、松井正文、駒井智幸、筒井学、佐々木猛智、月井雄二、和田浩志（二〇一三）小学館の図鑑 ネオばけっと 水辺の生物、小学館。
4. 月井雄二（二〇一〇）淡水微生物図鑑―原生生物ビジュアルガイドブック―、pp. 239、誠文堂新光社。
5. 白山義久、窪寺恒己、久保田信、齋藤寛、駒井智幸、長谷川和範、西川輝昭、藤田敏彦、月井雄二、土田真二、加藤哲哉（二〇〇五）小学館の図鑑NEO 水の生物、小学館。
6. Japanese Ant Database Group (2003) *Ants of Japan*, Gakken (下記の英語版)
7. 今井弘民、木原章、近藤正樹、久保田政雄、栗林慧、緒方一夫、小野山敬一、R. W. Taylor, 寺山守、月井雄二、吉村正志、鶴川義弘（二〇〇三）学研の大図鑑 日本産アリ類全種図鑑。学習研究社。
8. バイオリソース研究会編（二〇〇三）バイオ系のためのインターネット活用法、講談社サイエンティフィク（分担執筆）。
9. 樋渡宏一編（一九九九）ゾウリムシの遺伝学、東北大学出版会（分担執筆）。
10. 月井雄二、木原章、鶴川義弘（一九九二）生物科学系のためのMacintosh 講談社サイエンティフィク。
11. Tsukii, Y. (1988) Genetic and chromosomal instability and induction of aneuploidy in *Paramecium*. In: *Aneuploidy, Part B: Induction and Test Systems*, Alan R. Liss, Inc., p. 209–225.

12. 石井圭一、堀上英紀、月井雄二（一九八八）グラフィック生物学（改訂版）、関東出版。
13. Tsukii, Y. (1988) Mating type inheritance, In: *Paramecium* (ed. H.D. Gortz), Springer Verlag, p. 59-69.
14. 樋渡宏一、月井雄二（一九八六）原生動物における性と種の分化、*微生物の生態14進化をめぐって*、学会出版センター、p. 85-98.
15. 月井雄二、樋渡宏一（一九八二）原生動物、*遺伝学実験法講座3、微生物遺伝学実験法*、共立出版、p. 302-334.
16. 野沢義則編（一九八一）*生動物細胞—医学生物学の実験系として—*、講談社サイエンティフィック（分担執筆）。

〈論文〉

1. 月井雄二（二〇一五）原生動物における種レベルの多系統性と種の問題、*日本原生動物学雑誌*四八、三二—一〇。
2. Satoh K., Nishiyama Y., Yamazaki T., Sugita T., Tsukii Y., Takatori K., Benno Y. and Makimura K. (2011) Microbe-I: fungal biota analyses of the Japanese experimental module KIBO of the International Space Station before launch and after being in orbit for about 460 days. *Microbiol. Immunol.*, 55, 823-829.
3. 月井雄二（二〇〇八）原生動物画像データベースの現状と将来展望。原生動物学雑誌、四一（二）、一〇—一六。
4. 木原章、月井雄二（二〇〇一）学術データベースとしての生物形態画像データベース、*法政大学紀要*、一一八、三二—四三。
5. Tsukii, Y. (1996) Genetic diversity among natural stocks of *Paramecium caudatum* revealed by RAPD

- markers. *Eur. J. Protistol.*, 32 (Suppl. D), 165–169.
- 9[]] Tsukii, Y., Harumoto, T., Yazaki, K. (1995) Evidence for a viral macronuclear endosymbiont in *Paramecium caudatum*. *J. Euk. Microbiol.*, 42 (2), 109–115.
- 1[]] Tsukii, Y., Endoh, H., Yazaki, K. (1994) Distribution and genetic variabilities of mitochondrial plasmid-like DNAs in *Paramecium*. *Jpn. J. Genet.*, 69, 685–696.
- 8[]] Endoh, H., Yazaki, K., Takahashi, M. and Tsukii, Y. (1994) Hairpin and dimer structures of linear plasmid-like DNAs in mitochondria of *Paramecium caudatum*. *Curr. Genet.*, 27, 90–94.
- 6[]] Tsukii, Y. (1994) Evolution of mitochondrial DNA in *Paramecium caudatum*. *Jpn. J. Genet.*, 69, 307–319.
- 10[]] Tsukii, Y., Hiwatashi, K. (1985) Meiotic nondisjunction and aneuploids in intersynthetic hybrids of *Paramecium caudatum*. *Genetics*, 111, 779–794.
- 11[]] Tsukii, Y., Hiwatashi, K. (1983) Genes controlling mating-type specificity in *Paramecium caudatum*: Three loci revealed by intersynthetic crosses. *Genetics*, 104, 41–62.
- 12[]] Agatsuma, T., Tsukii, Y. (1980) Genetic control of lactate dehydrogenase isozymes in *Paramecium caudatum*. *Biochemical Genetics*, 18, 77–85.
- 13[]] Tsukii, Y., Hiwatashi, K. (1979) Artificial Induction of autogamy in *Paramecium caudatum*. *Genet. Res.*, 34, 163–172.
- 14[]] Tsukii, Y., Hiwatashi, K. (1978) Inhibition of early events of sexual processes in *Paramecium* by concanavalin A. *J. Exptl. Zool.*, 205, 439–446.

〈総説〉

1. 月井雄二（一九九三）ゾウリムシの性。遺伝、四七（一）、四九—五三。
2. 月井雄二（一九九二）生物学の学び方。法政通信、二二六、七一—一三。
3. 月井雄二（一九九二）日本のパソコン通信における科学技術ネットワーク—先端科学技術情報モニタリングシステムのあり方について—。先端科学技術情報モニタリングシステム中間報告書。
4. 月井雄二（一九九二）PROTOZOA・BBSの紹介—研究手段としてのパソコン通信—。情報知識学会ニュースレター、六、一八—二二。
5. 月井雄二（一九九〇）研究情報データベースの構築。MAC LIFE 11月号、27。
6. 月井雄二（一九八六）接合型。F:特集 ゾウリムシの接合、遺伝、四〇（四）、六一—一〇。
7. 月井雄二（一九八五）ゾウリムシの mating type 遺伝子。生物科学ニュース、一六一。
8. 月井雄二（一九八四）原生動物における遺伝子組替えの展望。細胞工学、三（八）、七三—七三三。

〈学会発表〉（研究テーマに深く関わるもののみを示す）

1. 月井雄二（二〇一六）共生藻を持つラッパムシ、Stentor pyriformis は独立栄養である。日本原生動物学会第五〇回大会。
2. 月井雄二（二〇一七）共生藻を持つラッパムシ、Stentor pyriformis の生息域調査とその培養法の開発。日本原生動物学会第五〇回大会。

3. 月井雄二(二〇一二) 岩石段丘における原生生物の多様性。日本動物学会第八三回大会関連集会：日本に生息する原生動物。
4. Kihara, A., Tsukii, Y. (2004) Data Archiving of Protist Movie Server. 日本動物学会第七五回大会, *Zool. Sci.*, 21, 1276.
5. 月井雄二(二〇〇三) 纖毛虫フロントニア属 (*Frontonia*) の系統解析。日本原生動物学会第三五回大会、原生動物学雑誌、三六(一)、七三。
6. Tsukii, Y. (2003) Microbial Diversity Information Databases In Japan. Joint International Forum on Biodiversity Information: Building Capacity in Asia and Oceania, Abstr. 66.
7. Kihara, A., Onoyama, K., Ogata, K., Terayama, M., Yoshimura, M., Kondoh, M., Tsukii, Y. (2002) The Japanese ant image database - structure and function. In: XIV Inter. I Congr. IUSSI, Abstr. p. 91.
8. 月井雄二(二〇〇一) *Chilomonas paramecium* の種内多様性について。日本原生動物学会第三四回大会、原生動物学雑誌三五、五〇。
9. 月井雄二(二〇〇二) 分類学研究と教育のための公開画像データベース、—原生生物画像データベースの場合—。Res. Rep. Nat. Inst. Environ. St., 171, 255–263.
10. Tsukii, Y. (2001) RAPD法による裸性アメーバ、マヨレラ属の分子系統調査。日本原生動物学会第三三回大会、原生動物学雑誌、三四、四六。
11. 月井雄二(二〇〇一) GBIFの紹介と生物多様性データベースのあり方について。日本動物学会第七二回大会関連集会：生物分類データベースの現状と展望。

12. 今井弘民、月井雄二、鶴川義弘、木原章、久保田政雄、近藤正樹、小野山敬一、緒方一夫、寺山守、Taylor, R.W. (2000) アリ類画像データベース。博物学とインターネット：デスクトップでナチュラルヒストリー、六三—七五。
13. Kinoshita, N., Tsukii, Y., Takahashi, M. (2000) A search for "syngen" and the boundary of morphological species in *Paramecium*. 日本動物学会第七一回大会『Zool. Sci. (suppl.)』, 17, 42.
14. 月井雄二 (一九九九) ゴウリムシのシンジェンと種進化。SHINKA, 8 (3/4), 83-86.
15. 月井雄二 (一九九九) 生物系研究資料データのデータベース化サポートシステムに関する研究。シンポジウム：生物系研究資料のデータベース化及びネットワークシステム構築のための基盤的研究開発、科学技術振興事業団。
16. 月井雄二 (一九九七) 学術データベースのサポートシステムの確立。日本動物学会第六八回大会関連集会…インターネットにおける生物データベースの現状と展望。
17. 月井雄二 (一九九七) 原生生物データベース 素材データベースとしての原生生物情報サーバ。日本動物学会第六八回大会関連集会…インターネットにおける生物データベースの現状と展望。
18. 月井雄二 (一九九七) 織毛虫類におけるミトコンドリアプラスミドの分布と類縁性。日本動物学会第六八回大会、『Zool. Sci. (suppl.)』, 14, 31.
19. 月井雄二 (一九九七) 原生生物と日本産アリ類の広域画像データベース、第七回日本コンピュータサイエンス学会学術集会。
20. 月井雄二、木原章、鶴川義弘 (一九九五) インターネットを利用した生命科学情報の広域データベース化とその意義—日本産アリ類カラー画像データベースの紹介—。Jpn. J. Comp. Sci., 2 (1), 109-115.

21. Kihara, A., Tsukii, Y., Ugawa, Y. (1995) A color image database of Japanese ants. 日本動物学会第六六回大会『Zool. Sci. 12 (suppl.), 36.
22. 月井雄二、木原章、鶴川義弘(一九九五) 原生生物における研究素材データベースの構築とネットワークでの公開。第二八回日本原生動物学会大会、原生動物学雑誌、二九、五九。
23. 月井雄二(一九九三) RAPD法によるゾウリムシ野外株間の比較、日本原生動物学会第二六回大会、原生動物学雑誌、二六(一)、六九―七〇。
24. 月井雄二(一九九三) ゾウリムシにおける種進化の問題について。日本動物学会第六四回大会、Zool. Sci., 10 (suppl.), 177.
25. 月井雄二(一九九三) RAPD法によるゾウリムシ系統分類の試み。日本遺伝学会第六二回大会、Jpn. J. Genet., 68, 436.

〈その他〉

1. 公開講演会「生物多様性研究・教育を支える広域データベース」(2002. 10.14) を主催 <http://protist.i.hosei.ac.jp/GBIF/20021014/abstracts/Tsukii/index.html>
2. CD-ROMの制作・配布
 - ・米田芳秋、仁田坂英二(二〇〇〇) アサガオ画像データベースCD-ROM、(財) 遺伝学普及会。
 - ・アリ類データベース作成グループ(一九九八) 日本産アリ類カラー画像データベースCD-ROM第二版。
 - ・原生生物データベース作成グループ(一九九八) 原生生物データベースCD-ROM第三版。

- ・原生生物データベース作成グループ（一九九六）原生生物データベースCD-ROM第二版。
 - ・アリ類データベース作成グループ（一九九五）日本産アリ類カラー画像データベースCD-ROM第一版。
 - ・原生生物データベース作成グループ（一九九四）原生生物データベースCD-ROM第一版。
3. テレビ出演

NHK高校講座生物 第六回 単細胞生物と多細胞生物〜1つで生きる たくさんで生きる〜、中村雅浩監修（二〇一〇）

4. ハイビジョン科学映画の制作・展示

High definition video image of protozoa, 東京シネマ新社、一九分、一九八九

共同企画：第八回国際原生動物学会議 実行委員会

協力：SONY PCL、フジTV、カールツアイス、ハイビジョン普及支援センター